



第10号  
 令和5年9月1日  
 府中市立  
 府中第八中学校



〈在籍生徒数〉 一学年247名、二学年262名、三学年241名  
 全校生徒数750名  
 〈学校住所・電話番号〉  
 〒182-0035 府中市四谷一丁目二八二七  
 電話 〇四二(三六四)一八八一  
 始業式前日に  
 卓球部の生徒  
 たちが校舎内  
 を整美をしまし  
 た!

『防災週間と津波防災の日』(九月全校朝礼の話に関連させて)

校長 高汐 康浩

昨年、和歌山県の串本を訪れました。串本は本州の最南端と言われているので、その地名を聞いたことがあるかもしれません。下の写真は、串本を訪れたときに利用したJR紀勢線の電車の扉のステッカーと駅の津波注意喚起の看板です。和歌山県庁の総合防災課は、南海トラフの地震に備えさまざまな取組を行うとともに、災害への備えを広く継続的に呼び掛けています。そのため、和歌山県の海沿いの町では、津波への注意喚起の掲示物を多く見かけます。



関東地方に住んでいる私たちは、「南海トラフ」という言葉にあまりなじみがないかもしれませんが、南海トラフとは、静岡県駿河湾から九州東方沖まで約七百公里メートルにわたって続く、深さ約四千メートルの海底のくぼみ(深い溝状の地形)のことです。南海トラフでは、約九十年から百五十年周期で繰り返し津波を伴う地震が起きてきました。今後は、さらに広域の震源域で地震が連動した最大クラスの「南海トラフ巨大地震」も想定されています。想定されるマグニチュードは9.1(東日本大震災はマグニチュード9)です。その被害規模や範囲は相当大きくなると考えられています。大正十二年九月一日は、関東大震災が発生した日です。そして、今年には関東大震災から百年の節目に当たります。この地震により、関東地方を中心に人的、物的にも甚大な被害が発生しました。その後、毎年この日を「防災の日」とし、この日を中心とする「防災週間」には、

全国的に防災に関する様々な行事が開催されてきました。私たちのごく身近なところでも、例年であれば各地の町会・自治会等が主催する防火防災訓練などが行われているところとす。また、平成二十三年六月には、「津波対策の推進に関する法律」が制定され、国民の間に広く津波対策についての理解と関心を深めるため、十一月五日を「津波防災の日」と定めました。この「津波防災の日」においては、国及び地方公共団体は、その趣旨にふさわしい行事を実施するよう努めることとされています。

日本は、その位置、地形、地質、気象等の自然的条件から、台風、豪雨、豪雪、洪水、崖崩れ、土石流、地滑り、地震、津波、火山噴火等による災害が発生しやすい国土です。首都直下地震については、今後三十年で起きる確率は七十%といわれています。私たちの住んでいる地域の電柱には左の写真のように、多摩川で洪水が起きた際の『想定浸水深』が表示されていることは、皆さんが知っているところとす。今月の全校朝会では、府中市の各種ハザードマップとハザードマップポータルサイトの災害リスク情報などを地図に重ねて表示できる『重ねるハザードマップ』について触れます。私たちが住んでいる地域の特徴を知ることの大切さについて確認します。

東京都教育委員会は、一人一台学習者用端末での活用や、防災教育の一層の充実を図るため、防災教育ポータル教材「防災ノート」災害と安全」を「防災教育ポータルサイト」のウェブサイトにアップして配信しています。下のQRコードからアクセスできますので、ぜひご覧ください。



# あなごせ

思春期は、心身ともに大きく成長する時期だからこそ、悩みをもつことが多くあります。悩みを抱えてしまっているときに、相談できる相談窓口はたくさんありますので安心してください。「不安や悩みがあるときは：一人で悩まず、相談しよう」と「TOKYOほっとメッセージチャンネル」のQRコードからアクセスして活用してください。



# 活躍する八中生

〔敬称略〕

- ★☆☆水泳★☆☆
  - 第四十七回 関東中学校水泳競技大会
  - 200m・400m個人メドレー出場 江畑 希彩
- ★☆☆卓球部★☆☆
  - 第五十一回 関東中学校卓球大会
  - 女子団体 出場
  - 奥 絢花 猪飼 菜月美 松尾 栗里 荒川 結加
  - 山下 和夏 大島 和 谷 そら 加藤 光
- VICTAS杯
  - 男子優勝 和田 塔矢 石川 蓮真 岡部 翔之介
  - 女子第五位 松平 昌大 杉浦 陽向 嶺川 英志
  - 小山 花帆 西野 実紗希 細井 優莉
  - 畔上 夏実 藤本 ゆずな 松浦 優那
- 多摩スポーツ杯
  - 男子Aリーグ 優勝 浅倉 陽和太 和田 塔矢 石川 蓮真
  - 松平 昌大 岡部 翔之介 嶺川 英志
- 男子Bリーグ
  - 優勝 新津谷 奏汰 杉浦 陽向 綿谷 虎之佑
  - 岡本 悠真 石川 纏 高橋 礼知
  - 第三位 辰巳 瑛太 牧井 琉偉 斎竹 陽
  - 古谷 琉悟 牛久保 湊士 寺田 透吾
- ★☆☆バスケットボール部★☆☆
  - アルバルク杯
    - 男子 準優勝 女子 準優勝
  - ETP杯
    - 女子 優勝
  - 校成杯
    - 女子 第七位



## 前期教育活動アンケートから分かること

- ◎88%の生徒が、学習や生活に目標をもって取り組んでいます。そのうちの33%の生徒は「よく取り組んでいる」と回答しています。  
3年生の肯定的回答が多くなっていますが、全体的に目標を意識して学校生活を送っている生徒が多いことがわかります。
- ◎78%の生徒が、防災に関する学習に意欲的に取り組んでいます。そのうちの29%の生徒は「よく取り組んでいる」と回答しています。  
学年が上がるにつれて、意欲的に取り組む生徒の割合が多くなる傾向があります。今年度も地域と連携した防災教育を推進していきます。生徒たちが将来、主体的に地域の安全文化の構築に貢献できるようになるような防災教育を行っています。
- ◎95%の生徒が、学級の活動、学校行事に進んで取り組んでいます。そのうちの54%の生徒は「よく取り組んでいる」と回答しています。  
肯定的回答の半数以上が「よく取り組んでいる」と回答しているところが特徴的です。そして、3年生の肯定的回答は98%を超えていることから、3年生が1、2年生のよい手本となっていることがわかります。
- ◎97%の生徒が、交通ルール、社会のルール、学校生活の決まりを守っています。そのうちの53%の生徒は「よく守っている」と回答しています。  
この項目は、どの学年も95%以上の生徒が肯定的な回答です。この項目も、3年生の肯定的回答は99%を超えていることから、3年生が1、2年生のよい手本となっていることがわかります。
- ◎97%の生徒が、友達などに思いやりの気持ちをもって接しています。そのうちの50%の生徒は「よく接している」と回答しています。  
どの学年も肯定的回答が95%を超えています。全体的にやさしい心や思いやりの気持ちがしっかりと育っていることがわかります。

# 秋の全国交通安全運動

令和5年9月21日(木)～9月30日(土)